

総務文教委員会

10月2日に山形県南陽市役所にて、沖郷地区における地域公共交通「おぎタク」について、行政視察を行いました。

「おぎタク」とは

沖郷地区の全住民で構成する「沖郷地区地域公共交通運行協議会」が運営する定額タクシーです。医療機関・商業施設・金融機関・公共機関など約60カ所ある「おぎタクのりば」と「自宅」の間を、片道500円でタクシーが利用できます。本人が支払う利用料金（片道500円）と運賃との差額は、協議会（地域住民からの負担金一戸・年2000円と市補助金）が負担する仕組みです。

導入の背景は

長年にわたり公共交通空白地であった沖郷地区。将来に向けて持続可能な公共交通を目指し、実態調査や実証実験など2年間の検討を重ね、令和元年10月に本格運行がスタートしました。

国土交通大臣より表彰

地域住民が主体となつて運行し、それを地域全体で支え合う取り組みが評価され、山形県内で初となる「地域公共交通優良団体」として、国土交通大臣から表彰。



建設福祉委員会

10月16日に宮城県石巻市役所にて、児童館の運営、公立幼稚園・保育所の民営化について、行政視察を行いました。

公立幼稚園・保育所の民営化

石巻市では、他の自治体と比較して保育所数が多いこと、公立幼稚園の利用者が加速的に減少していくことを危惧し、幼稚園単独の存続は困難なことから積極的に民営化を進めることとしました。基本計画「石巻市子ども未来プラン」では、統合による子ども園化、民営の子ども園を設置することを政策決定しました。

児童館の運営

公益財団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパ

被災地を視察

えるとき垂直避難だけでは難しい一面があることを伝えていきます。

東日本大震災被災地を視察

気仙沼市東日本大震災遺構伝承館

愛西市では本年度から、東日本大震災の被災地を知る中学生体験学習事業がスタートしました。本議会では、この事業の有効性を知り、この地域で危険されている南海トラフ地震発生時における対応の必要性を学びました。

被災した気仙沼向洋高校の校舎に震災伝承館を加えた施設が令和4年3月10日に開館しました。校舎は、海辺から150mに位置し、13mを超す津波に襲われましたが、迅速な避難で誰一人犠牲にならなかったことは奇跡に近いことです。

石巻南浜津波復興祈念公園

石巻市は、約4千人の犠牲者が集中した国内最大の被災地で、特に被災の大きかった南浜地区は地震・津波・火災および地盤沈下の被害を複合的に受けました。

門脇小学校は、津波火災の痕跡を残す唯一の震災遺構であり、避難を考

